

子どもと共に

一年間、ありがとうございました。

卒業式・修業式

3月17日、3年生10名が中中を旅立ちました。

卒業式

校長式辞から

発行人 中島中学校 校長 長野 真太郎 松山市長師 817 997-0204

島内生と全市域募集で本校を選んでくれた新生青潮寮一期生とが融合し続けたこの3年間で、今日完結します。誇り高き十名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。皆さんを加え7292名が中島中学校を卒業したこととなり。思い返せば、皆さんと私の出会いは、二年前の四月でした。赴任当初、慣れない私の不安をかき消してくれたのは、当時二年生になったばかりの初々しい皆さんの覇気ある挨拶、立ち振る舞い

発表、ジュニア俳句甲子園、RNBコードも音楽コンクールなど、いつも主役は君たち三年生でした。中でも合唱「手紙〜 拝啓十五の君へ〜」は強く印象に残っており、文化祭以来、その音源が私のスマホの着信音となっています。三学期になると受験勉強に追われる毎日、重苦しい日々の中、面接練習で夢を語る皆さんの眼差しに心動かされました。また、寒さ厳しい中で挑戦したサビキ釣りも中島の醍醐味を味わう貴重な体験になったのではないのでしょうか。『心に太陽 くちびるに歌』を合い言葉に、五月十日、授業中に姫が浜まで移動して撮影した「ありちゃん森」は、学級掲示にとどまらず、宝物となって卒業アルバムに飾りましたね。まさにブラボーな君たちです。そんな皆さんの門出を祝し、紹介したい本があります。この三学期、こっそりと校長コーナーに仕掛けていたのですが、気付いていたでしょうか。今も続いている連載十八年目のマンガ『宇宙兄弟』です。主人公は二人の兄弟で、中学生になった兄が小学生の弟と一緒に宇宙飛行士になる夢を公言したことからはじめ、夢と浪漫に満ちたお話です。兄より先に宇宙飛行士となった弟ヒビトが、記者会見を開き、月に行くことを表明したのが二〇二五年五月。弟に引張られるように、兄ムツタが宇宙飛行士選抜試験を受け始め、一次試験の合格通知書を受けとったのが二〇二五年九月。という具合に『宇宙兄弟』の舞台では、二人にとって夢の現に繋がった節目が今年なのです。そこで、現実世界の皆さんにとって、このマンガが未来予想図にあたりと思いい、ここにその一節を紹介したいと思います。ある回想シーンで、流れ星のことを「生きた石コロ」と呼ぶ、宇宙大好き少年が登場します。後に、その少年は大学を中退し、目標を失い道に迷うことになりました。そんな彼に、ある時、ある家族が発した「大事なものは動くこと。何もせずに止まっているのは道端のただの石コロ。動いて動いて輝く石は流れ星【生きた石コロ】です。」というメッセージが、彼の心に突き刺さった瞬間が描かれています。詳細は、マンガやアニメで確認ください。まさに母校を巣立つていく君たち一人一人が、【生きた石コロ】流れ星となって未来において光り輝いてくれることを、今日ここに願うばかりです。保護者の皆様、大切なお子さまのご卒業、本当におめでとうございます。教育活動に対し、いつも温かくご支援、ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。ご来賓

の皆様におかれまして、ご多用の中お越しいただき、誠にありがとうございます。地域の皆様に見守りいただきまして、十名の中島つ子が、このように立派に巣立っていきます。これもひとえに、保護者の皆様、地域の皆様のご支援の賜物です。今後とも、広く大きな心で支え導き、見守っていただきませうようお願い申し上げます。『人生の全てに意味があるから恐れずにあなたの夢を育ててほしい♪』

### 旅立ちの言葉

『いつの時代も悲しみを避けては通れないけれど、笑顔を見せて、今を生きよう♪』

紙読んでいるあなたは、どこで何をしているのだろう。『五年後、中島で開催の二十歳の集いでその答えを聞かせてもらえたらうれしいです。それぞれの決意を胸に前進、挑戦し続ける十名の将来が、希望と笑顔、幸せに満ちあふれますことを心からお祈り申し上げます。式辞といたします。

桜の蕾も少しずつ膨らみ始め、教室の窓から見える景色に、春を感じるようになりました。瀬戸内のあたたかな潮と、桜の蕾が、今日卒業する私たち十人の背中を押ししてくれているように感じます。三年前の四月、私

たちは大きな希望を抱きながら、この場に立ちました。全市域募集の一期生として、新たに五人の仲間が加わり、十人での生活が始まりました。不安もありましたが、目に入るものの全てが新しく、わくわくしたことを覚えていきます。分からないことばかりの入学当初、いつでも優しく教えてくださる先輩方の背中が、とても大きく見えませんでした。私たちもこんな先輩になりたいと強く憧れました。少年の日を迎えた二年生、大人への一步を踏み出しました。合唱や書道、パフォーマンスを通して、自分自身と向き合い、一人の人間として、一つのクラスとして、大き

く成長することができたと思います。書道、パフォーマンスでは、何度も話し合っ「結」という字を書くことに決めました。多目的ホールに飾られている作品を見るたびに、背筋を正される思いがします。最高学年となった三年生。受験という大きな試練に立ち向かいました。初めて経験することが多く、自分の至らなさや弱さを痛感する毎日でした。そんな自分の弱さに打ち勝ち、全員が自分の進路を導いてくださった先生方。一人一人に真剣に向き合い、悩んだときには親身になって相談に乗ってく

も温かく見守り、優しく声を掛けてくださり、ありがとうございます。この中島は、私たちにあって、いつでも帰ってきたいと思える大切なふるさとです。在校生の皆さん。今まで、私たちに歩いてきてくれてありがとうございます。これからの中島中学校をよろしく願います。

同級生の皆。これまでも、この学び舎で巡り会えた仲間との絆を胸に、どんな壁も乗り越え、夢に向かって努力し続けます。今よりももっと広い世界で、自分の花を咲かせられると信じて、私たちは新たな道へと歩き出します。





全員の**未来**に幸あれ！卒業おめでとう！

# 修業式

## 一年間の挑戦 一年生の抱負

中島中学校での生活が始まり、充実した日々を仲間と共に過ごすことができませんでした。その中で、私が挑戦したことが二つあります。

一つ目は英語の学習です。私は小さい頃から英語が好きで、正しい発音やアクセントに気を付けながら学習に取り組みました。今村先生やシグ先生の授業はとても楽しかったです。単元別テストや期末テストでは思うような点数を取ることができず、悔しい思いをしました。二年生では、授業や家庭学習を集中して行い、

良い点数を取りたいです。二つ目は、吹奏楽部の活動です。アンサンブルコンサートやスプリングコンサートでの演奏に向けて、先生や先輩

のアドバイスを参考にしながら練習をしました。また、自分のパートを確実に吹くために家でも自主練習を行いました。

これからは、来年度のコンクールに向けて基礎練習を充実させ、上達できるように頑張りたいです。来週には二年生に進級します。私が二年生になって特に頑張りたいことは二つあります。一つ目は小中合同運動会です。運動会で披露するソラン節や応援合戦などで、一年生も一緒に堂々と披露でき

るよう、二年生として後輩をサポートしたいです。二つ目は忘れ物を少なくすることです。これまで教科書やノートを家に忘れたり、宿題を忘れたりすることが多々ありました。これからはやるべきことを確実にあゆみに書き、帰宅してすぐに課題に取り組み、寝る前に次の日の準備や確認を行いたいです。

次は私たちが先輩になる番です。卒業した三年生の思いや中島中学校の伝統を受け継ぎ、二年生から学んだ先輩の姿を見習い、四月から先輩としての背中を見せられるよう頑張ります。また、立てた目標を達成するだけでなく、三年生を支

えられるよう、様々なことに挑戦していきたいです。

## 二学期の振り返り 最高学年に向けて

この三学期を振り返って、一番印象に残っているのは、少年の日記念集会に向けての練習です。みんなと大きな紙に虹を描いたり、選んだ言葉を書いたりした書道作品。みんなで息と心を合わせ、良い歌声を響かせようと努力した合唱。初めての曲に挑戦した水軍太鼓。学校の練習だけではなく、家でも合奏曲や水軍太鼓の音源を聞いて練習しました。しかし、大雨で延期になると聞いたときはショックでしたが、気持ちを立て直し、練習に

取り組み、本番では無事成功させることができたので良かったです。

四月にはいよいよ三年生になります。そこで、私は頑張りたいことが二つあります。一つ目は、周りを見て行動することです。これまでは自分のことで精一杯だったので、周りを見て自分のできそうなことを探し、すぐ行動したいです。二つ目は、集中力を上げることです。職場体験学習や少年の日の篠原さんの講演を通して、働くには様々な力が必要ということを知り、その中でも自分に足りていないのは、集中力だと思いました。私は、勉強をするときや何

か作業をするときに集中力が切れ、やる気がなくなってしまうことがあるため、一つ一つのことに区切りをつけ、集中して物事に取り組んでいきたいです。

三年生が中心になって行う行事がたくさんあります。その時に、今回少年の日で決意した「自覚」「立志」「健康」を胸に刻み、周りの人への「感謝」を忘れず、先輩として、覇気あふれる中学生になれるよう、さらに努力していきます。

